

令和 6 年度 (2024 年度)

# 小学生すくすくウォッチ 泉大津市の結果概要

# 令和6年度 小学生すくすくウォッチ

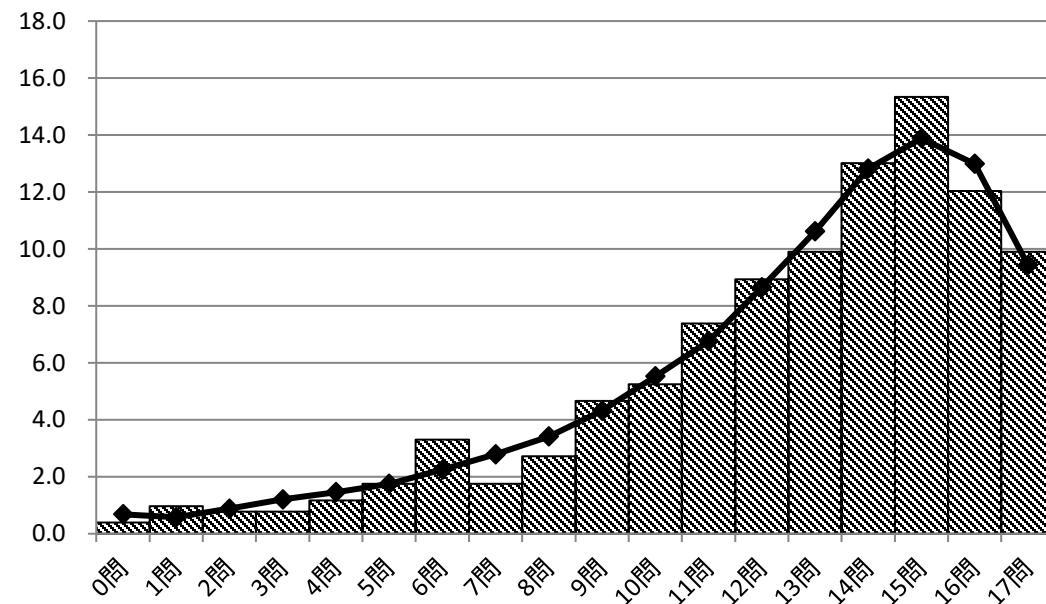
- 目的:子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。
- 実施日:令和6年4月17日～25日 ※期間内で学校が実施日を決定
- 対象:小学校、義務教育学校前期課程及び支援学校小学部の第5・6学年
- 実施児童数 5年生: 泉大津市 515人 大阪府 65,070人  
6年生: 泉大津市 544人 大阪府 66,036人
- 内容:5年生:国語、算数、理科、わくわく問題(教科横断型問題)、アンケート  
6年生:理科、わくわく問題(教科横断型問題)、アンケート
- 児童への資料「ウォッチシート(個人票)」の提供  
【記載内容】
  - ・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
  - ・各教科とわくわく問題(教科横断型問題)の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
  - ・各教科とわくわく問題(教科横断型問題)のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

# 教科に関する調査結果

# 【5年生 国語】リーディングスキルを問う問題が多数含まれる

<正答数分布グラフ>

■ 貴教育委員会    ● 大阪府



## 良好

- ・文を正しく理解し読み指示語の示す内容をとらえること
- ・修飾語と被修飾語の関係をとらえること

## 課題

- ・主語と述語の関係に注意して述語の部分を正しく書くこと
- ・文と文の意味のつながりを考えながら適切な表現を使って一文で書くこと

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	12.6問 / 17問	73.9%	4.7%
大阪府(公立)	12.5問 / 17問	73.4%	5.2%

分類	区分	平均正答率 (%)		
		泉大津市	大阪府	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76.0	75.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	70.1	70.7
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	46.8	51.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	—	—
		書くこと	68.0	64.9
		読むこと	—	—
評価の観点	知識・技能	73.9	73.4	
	思考・判断・表現	68.0	64.9	

## 7 (1) (2) 具体的な問題例

文を正しく理解し、指示語の指示内容を捉える。

7 ⑦ 次の(1)と(2)の——部の言葉がさし示す言葉として正しいものを、あとの1から4までのの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) フレンチトーストは、パンと卵と砂糖と牛乳を使って簡単に作れます。私はこれが大好物です。

- ① フレンチトースト
- ② 卵
- ③ 砂糖
- ④ 牛乳

泉大津市 95.5%  
(大阪府 94.8%)

(2) 大通りの郵便局と薬局の間に本屋があります。そこで待ち合わせましょう。

- ① 大通り
- ② 郵便局
- ③ 薬局
- ④ 本屋

泉大津市 89.1%  
(大阪府 90.5%)

リーディングスキル「照応解決」

## 8 (2) 具体的な問題例

示された文の構造や、情報と情報の関係を理解して文の内容を正しく捉える。

(2) 好きな給食メニューのアンケートの結果は、スパゲティが最も多く、肉じゃがはハンバーグよりも少なかった。

1 好きな給食メニューのアンケートの結果は、スパゲティはハンバーグより多く、肉じゃがより少なかった。

2 好きな給食メニューのアンケートの結果は、肉じゃがはハンバーグより少なく、スパゲティより多かった。

③ 好きな給食メニューのアンケートの結果は、ハンバーグは肉じゃがより多く、スパゲティはその二つよりも多かった。

泉大津市 70.1%  
(大阪府 70.7%)

リーディングスキル「同義文判定」

### 3 (1) (2) 具体的な問題例

文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分を正しく書く。

③ 次の(1)と(2)の文は、——部の言葉の使い方が間違っています。それぞれの文について、——部の言葉を正しく書き直しましょう。

(1) 今日は誕生日だったので、私は友だちから「おめでとう」と声をかけた。

正しい言葉 ……

正答例..

- ・「かけられた」と同様の解答をしているもの
- ※漢字で表記しているかどうかは不問(以下同)
- ※敬体、常体の使い分けは不問(以下同)
- ・「かけられる」と同様の解答をしているもの

泉大津市 66.6%  
(大阪府 68.0%)

(2) 気持ちを落ち着かせるためのよい方法は、大きく息をすいます。

正しい言葉 ……

正答例..

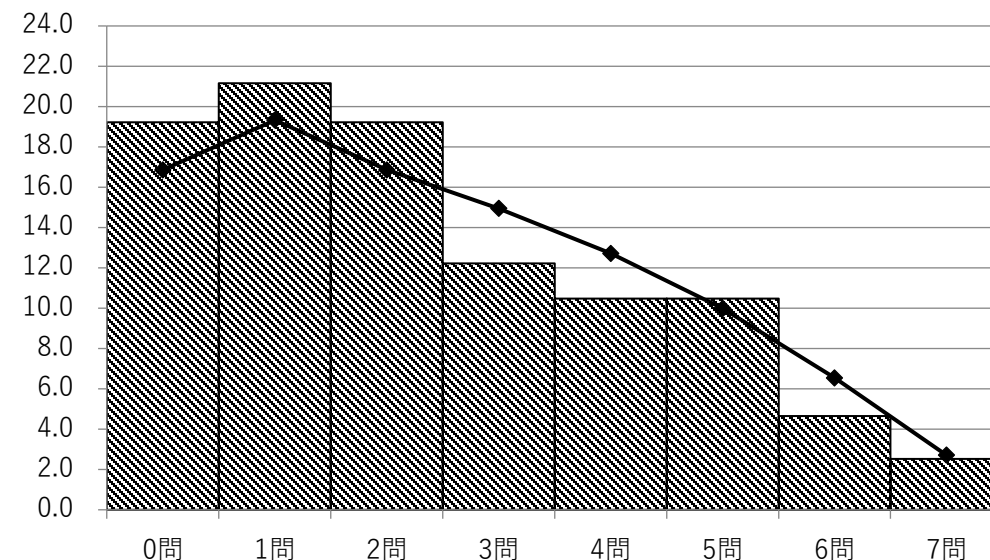
- ・「すうことです」と同様の解答をしているもの
- ※漢字で表記しているかどうかは不問(以下同)
- ※敬体、常体の使い分けは不問(以下同)
- ・「すうことでした」と同様の解答をしているもの

泉大津市 54.0%  
(大阪府 40.8%)

【5年生 算数】 大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題されている。

<正答数分布グラフ>

■ 貴教育委員会 ◆ 大阪府



	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	2.4問 / 7問	33.8%	4.7%
大阪府(公立)	2.6問 / 7問	36.7%	5.2%

分類	区分	平均正答率 (%)	
		泉大津市	大阪府
学習指導要領 の領域等	数と計算	35.6	38.4
	図形	28.0	30.4
	測定／変化と関係	35.6	38.4
	データの活用	40.6	44.6
評価の 観点	知識・技能	39.4	42.5
	思考・判断・表現	29.7	32.2

**課題**

- ・ 問題を読み取り、条件に合わせて、図形の面積を求める式を立てること
- ・ 円と長方形の性質のちがいに着目し、算数で使われる用語を使って説明すること
- ・ ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを理解し、図や式を用いて、ある二つの数量の関係を参考に別の二つの数量の関係を説明すること

# 具体的な問題例 大問1(4)

円と長方形の性質に着目し、その違いをもとにして説明する。

(4) ひとしさんとゆうさんが運動場で遊んでいると、先生が運動会の練習の準備をしているのを見つけました。先生は、玉入れのかごを運び、半径3mの円を運動場にかいています。

玉入れをする時、必ず円の形の線がかかれているよね。  
どうして四角形じゃないんだろう？



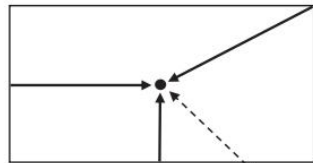
ゆう

2人は、準備をしている先生に聞いてみることにしました。すると先生は、ホワイトボードに長方形と円をかいて説明してくれました。



先生

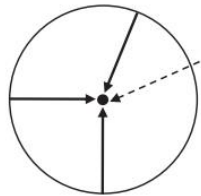
これらの線は、玉入れを始める時のスタートの位置を表しているよ。それぞれの真ん中にかごを置くと、長方形の場合と円の場合とで、どんな違いがあるかを考えてみよう。



長方形の場合は、頂点からスタートした人と、辺の真ん中からスタートした人とで、かごまでの距離が違います。



ひとし



※かごの位置

円の場合は、

(ア)



ゆう

市・府で、一番正答率の低かった問題  
泉大津市 13.0% (大阪府 15.8%)

解答類型(抜粋)		反応率 (%)	正答
(4)	(正答の条件) 次の①、②を書いている ① かごまでの距離が同じであること (半径に言及しているものも含む) ② 線の上のどこからスタートしても同じであること		
	1 ①、②を記述しているもの	13.0	◎
	2 ①を記述しているもの	9.3	
	3 ②を記述しているもの	19.8	
	4 円の半径について記述しているが、①、②を記述していないもの	5.6	
	9 上記以外の解答	41.6	
	0 無解答	10.7	

無解答率  
泉大津市 10.7% (大阪府 16.3%)

問1 円の特徴を参考にして、ゆうさんの言葉の中の、(ア) にあてはまる文を書きましょう。

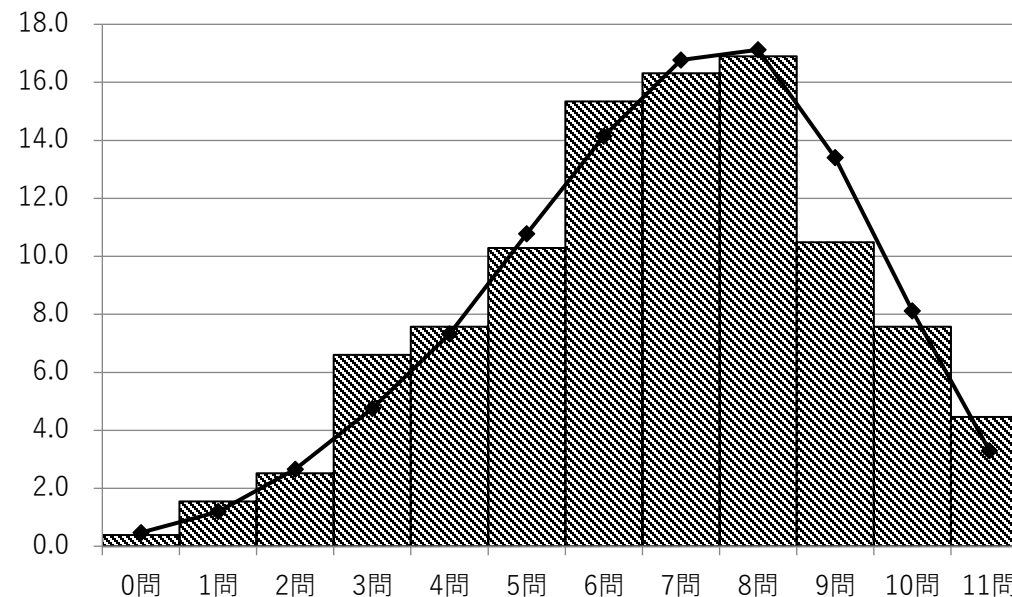


# 【5年生 理科】

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題されている。  
大問1は5・6年共通。

<正答数分布グラフ>

■ 貴教育委員会    ◆ 大阪府



	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	6.7問 / 11問	60.8%	3.8%
大阪府(公立)	6.8問 / 11問	61.9%	4.4%

分類	区分	平均正答率 (%)	
		泉大津市	大阪府
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	58.4	60.4
	「粒子」を柱とする領域	78.3	74.9
	「生命」を柱とする領域	84.3	86.4
	「地球」を柱とする領域	48.6	48.4
評価の観点	知識・技能	65.9	67.3
	思考・判断・表現	51.9	52.5

## 良好

- ・日光の集め方であたかさが変化することや、水を熱して沸き立つ状態となることの名称、さらに磁石の引き付ける力と対象物との距離の関係について理解すること

## 課題

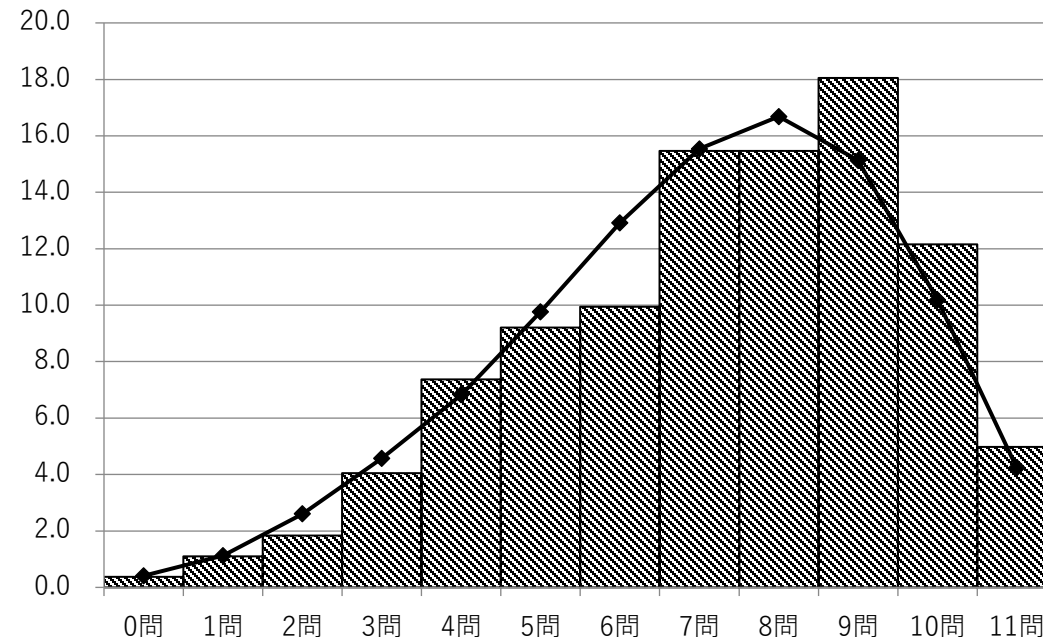
- ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解し、身の回りの物を分類すること
- ・方位磁針の性質から地球の磁場について考えて、書き表すこと

# 【6年生 理科】

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題されている。  
大問1は5・6年共通。

<正答数分布グラフ>

■ 貴教育委員会    ◆ 大阪府



	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	7.2問 / 11問	65.7%	1.9%
大阪府(公立)	7.0問 / 11問	63.7%	2.5%

分類	区分	平均正答率 (%)	
		泉大津市	大阪府
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	64.9	63.4
	「粒子」を柱とする領域	79.4	75.9
	「生命」を柱とする領域	82.2	82.0
	「地球」を柱とする領域	44.8	40.3
評価の観点	知識・技能	70.2	69.9
	思考・判断・表現	57.9	52.7

## 良好

- ・日光の集め方であたかさが変化することや、水を熱して沸き立つ状態となることの名義、さらに骨と骨のつなぎ目の名義について理解すること

## 課題

- ・太陽の沈む方角について理解すること
- ・電磁石の磁力を強くする方法について考えて、書き表すこと

# わくわく問題（教科横断型問題） に関する調査結果

5・6年共通の問題で実施

分類	区分	平均正答率(%)				
		5年	大阪府	6年	大阪府	
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	59.1	60.5	68.6	70.7	
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	50.8	50.4	61.8	62.5	
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	64.2	62.8	75.9	74.6	
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	71.0	68.8	82.0	79.7	
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	84.4	80.7	94.1	89.9	
出題内容	問題をとらえる	文章から読み取る	61.5	61.1	71.6	71.8
		会話から読み取る	51.3	51.6	61.0	62.1
		図や表から読み取る	55.2	54.6	65.7	65.7
	伝える	資料の情報を整理して伝える	56.3	56.5	65.9	66.8
		自身で考えたことを伝える	71.0	68.8	82.0	79.7
		理由や根拠を明確にして伝える	64.2	62.8	75.9	74.6

**良好**

- ・1つの資料から内容を読み取り、その内容を示したイラストとして適切なものを選ぶこと
- ・資料の内容をまとめた文章の正誤を判断すること
- ・自由な発想で自分の考えや思いをかくこと

**課題**

- ・表や文章などの資料と会話文とを関連付けて論理的に考えること
- ・会話と図やフローチャートから与えられた情報を理解して、その内容を関連付けて考えること
- ・複数の資料から内容を整理するとき、共通点を正確に見つけ出し記述すること

# 具体的な問題例 大問1(1)

1つの資料から内容を読み取り、その内容を示したイラストとして適切なものを選ぶ

## 【自転車の歴史】

①

世界で最初の自転車は1817年ごろに登場しました。この自転車は、車体のほとんどが木で作られていて、足でこぐためのペダルはありませんでした。足で地面を蹴って走るので、歩くよりも速く移動することができましたが、靴の底がすぐに壊れてしまいました。

②

1861年、フランスでかじ屋をしていたミショー親子は、自転車の修理をたのまれました。ふたりは、前輪に短い棒を付けて足で回転させたら、足で地面を蹴って走るともっと楽に走れるのではないかと考え試作しました。これが初めてのペダル付き自転車です。

③

1870年ごろには自転車レースがさかんに行われ、よりスピードを出すために、後輪に比べてかなり大きな前輪がついた自転車が登場しました。この自転車は、スピードは数段速くなりましたが、急に止まることがむずかしく、転ぶと大事故につながる危険な乗り物になってしまいました。

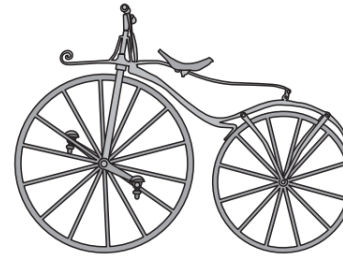
④

1885年、チェーンと歯車を使って後輪を回転させる自転車が作られました。この自転車は、足が地面にとどく安全な形をしています。スピードも速く、現代の自転車の始まりとされています。

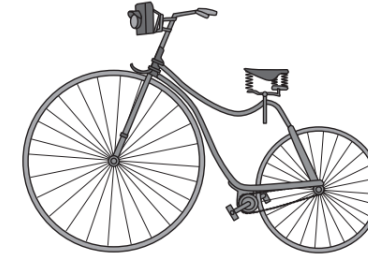


問い 【自転車の歴史】の①から④までにあてはまる自転車のイラストを、下のアからエまでの中から1つずつ選びましょう。

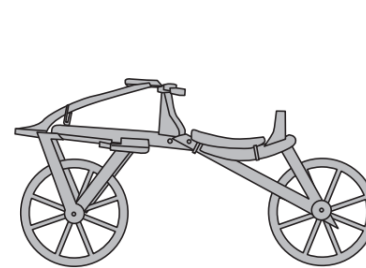
ア



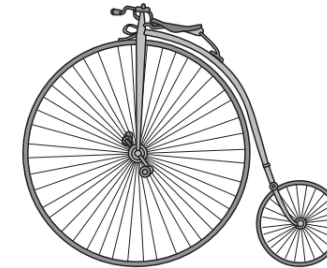
イ



ウ



エ



泉大津市 73.8%  
(大阪府 74.8%)

1つの資料から内容を読み取り、その内容を示したイラストとして適切なものを選ぶことはできている。



# 具体的な問題例 大問3(3)

## 自由な発想で自分の考えや思いをかく

(3) さらに、あかねさんたちが食について調べていると、次の資料4から資料6を見つめました。

資料4

### 健康のために必要な野菜の量

健康な生活を送るために、8才以上は毎日、350グラム（6～7才は270グラム）の野菜を食べることが理想です。しかし、実際は右のグラフの摂取量にとどまっています。

野菜が健康によいことは知られていますが、意識しなければなかなか十分に食べることができないのではないのでしょうか。

**【1日の野菜摂取量】**

年齢	摂取量 (g)
7~14才	約250
理想	350

(独立行政法人 農畜産業振興機構「子どもの健康と野菜摂取について」  
／令和元年度 厚生労働省「国民健康・栄養調査」より作成)

資料5

### 朝食を食べる習慣のよさ

○早寝・早起きなど、生活リズムが整う。  
○落ち着いて過ごすことができるなど、心が安定する。  
○脳に必要なエネルギーが届けられ、学習に集中したり、活発に活動したりすることができる。

**【朝食を食べないことがある小学6年生】**

年	人数 (人)
2015年	約130,000
2019年	約140,000
2023年	約160,000

(農林水産省「朝食を毎日食べるとどんないいことがあるの？」  
／文部科学省「全国学力・学習状況調査」より作成)

資料6

### 食品ロス：まだ食べられるのに捨てられる食品

日本では、売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、まだ食べられる食品が1年間にゴミとして、約523万トン捨てられています。

これは、1人あたり、毎日約114グラム（おにぎり1個分）の食品を捨てていることになる量です。

また、ゴミとして燃やすと二酸化炭素が出ることや、燃やした後の灰を埋める土地も必要になることなど、環境にも悪い影響があります。

(農林水産省「食品ロスって何が問題なの？」より作成)



食について、わたしたちが考えなければならないことは、いろいろあるね。それをみんなに伝えるために、ポスターをかくのはどうかな。

絵だけでなく、言葉もかくとわかりやすいね。



**問い** あなたは、資料4から資料6を見て、どのようなことを伝えなければならないと考えますか。また、みんなに伝えるために、どんなポスターをかきますか。次の【条件】に合わせて、かきましょう。

- 【条件】** ○もとにする資料を資料4から資料6の中から1つ（2つ以上でもかまいません）選びましょう。  
○「伝えたい内容」のらんに、伝えたいことを、文章で具体的に書きましょう。  
○「ポスター」のわくに、絵や言葉を使って工夫してかきましょう。

泉大津市 89.4%  
(大阪府 85.3%)

興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えることはできている。

# 具体的な問題例 大問2(2)

会話と図やフローチャートから与えられた情報を理解して、その内容を関連付けて考えること



図1のように、赤ぼうしをかぶった人と白ぼうしをかぶった人が、順番に横一列に並んでいるとするよ。ふりつけとふりつけの間に、曲に合わせて同時に動き、図2のような隊形に移動してはどうか。

図1 【運動場を上から見た図 (移動前)】

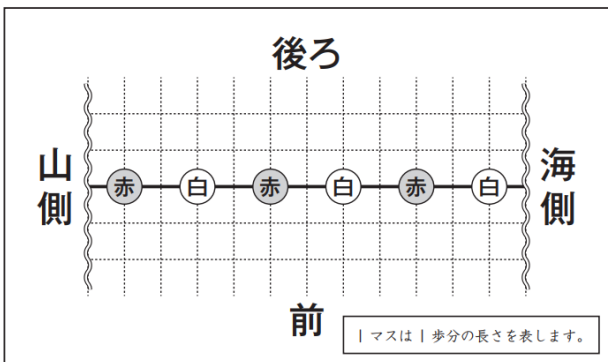
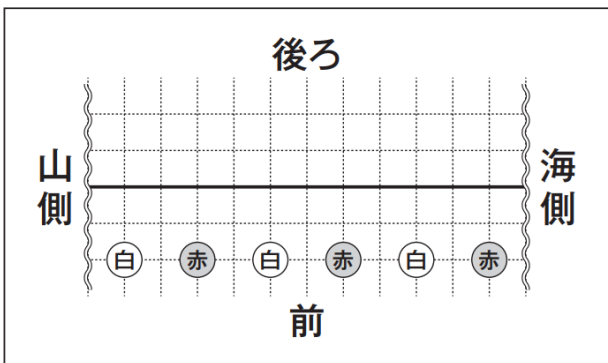
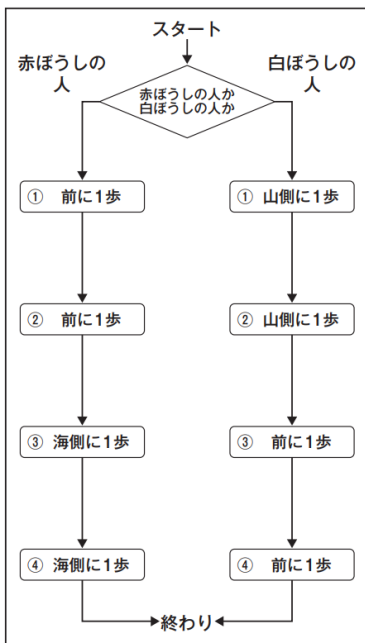


図2 【運動場を上から見た図 (移動後)】

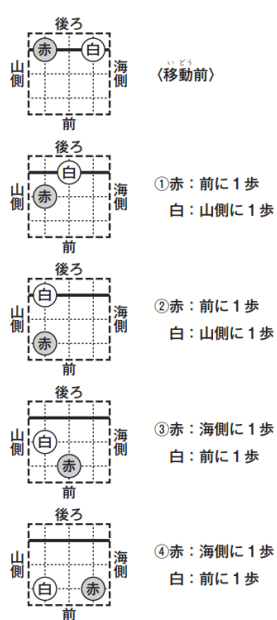


なるほど。でも、赤ぼうしをかぶった人と白ぼうしをかぶった人がぶつからないようにしながら、動く必要があるね。  
赤白のペアで下の【移動の方法】のように移動してはどうか。どんなふうに動くのかも、【一組だけ取り出した図】を使って、説明するね。

【移動の方法】



【一組だけ取り出した図】

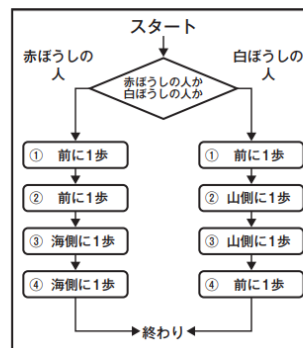


なるほど。これなら同時に動いても、ぶつからずに移動できるね。他にもぶつからずに移動する方法を考えてみたよ。

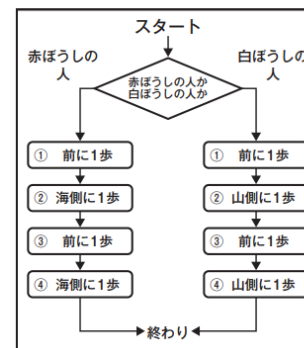


問い たけるさんが考えたアからウのそれぞれの移動の方法について、ぶつからずに移動後の決めた位置まで移動できるものに○を、ぶつかってしまうものに×をつけましょう。

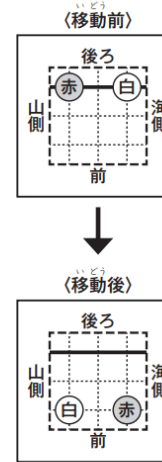
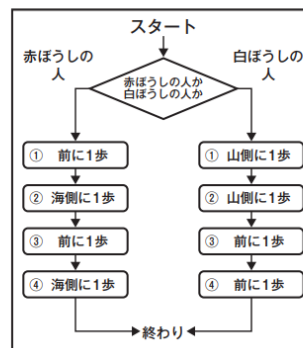
ア



イ



ウ



泉大津市 39.5%  
(大阪府 39.7%)

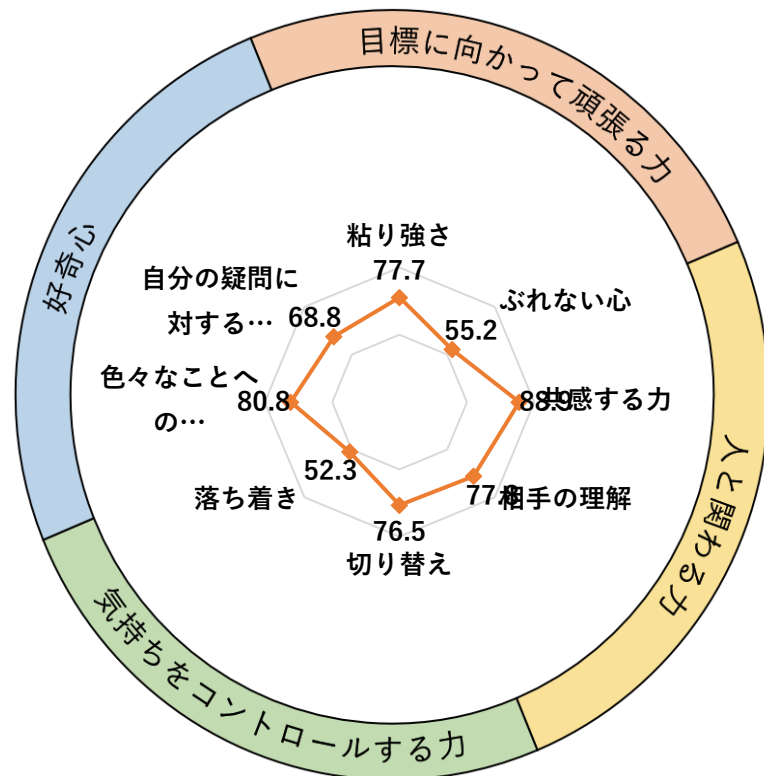
図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考えることについて課題が見られる。

# 児童アンケート結果

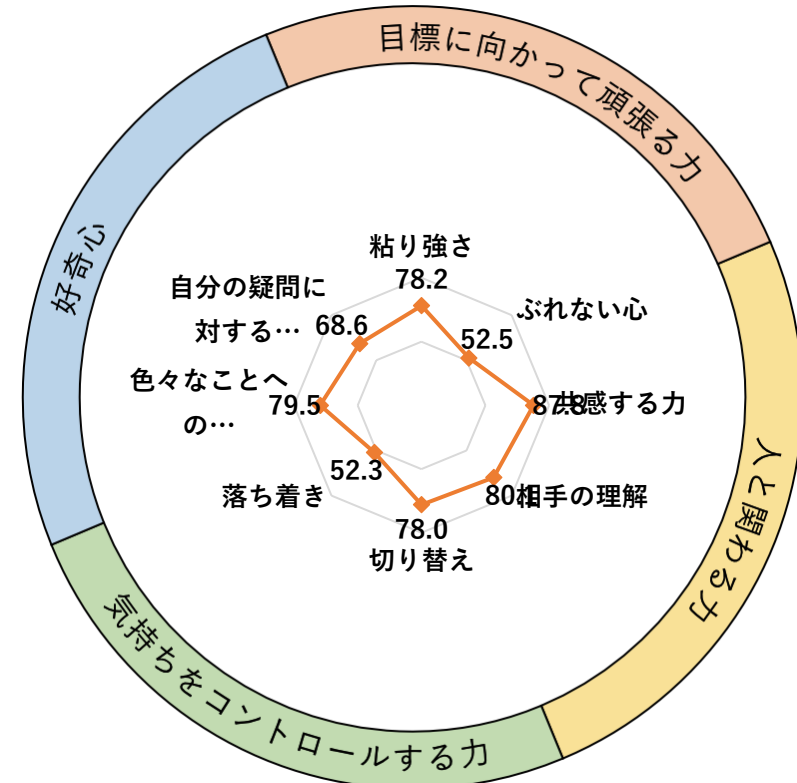


# 「未来に向かう力」と「好奇心」について

[5年生]



[6年生]



※「目標に向かって頑張る力」・「人と関わる力」・「気持ちをコントロールする力」の【未来に向かう力】と、【好奇心】の項目の、児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値

泉大津市の子どもたちの全体の傾向として、【未来に向かう力】のうち、「**人と関わる力**」がほかの力に比べて高いという結果だった。一方、「目標に向かって頑張る力」のうちの「**ぶれない心**」や「気持ちをコントロールする力」のうちの「**落ち着き**」が、他の観点に比べると低い傾向であるという結果だった。また、【好奇心】のうち、「**いろいろなことへの興味や関心**」は「**自分の疑問に対する答えを求める力**」と比べて高いという結果だった。